

スタジオアート13では 絵画を学ぶ

絵画を学ぶとは？

学ぶとは、知識欲を刺激するものへの情熱を ガイドすることである。芸術への情熱、芸術作品の創作は。プロやすでに名のある芸術家だけのものではない。趣味やあるいは他の動機からでも、週に数時間・数日を芸術に費やす全ての人、芸術への情熱を有り余るほど持っている。その事実：芸術活動の上達の為にアカデミーに来る全ての人々が、この自由なアカデミーを20年に渡って発展させ、支えてきたのである。この深い興味の結実が、良質の作品を生み出し、少なくとも芸術で生活している多くのプロと、引けを取らないと言うのは 誇張ではない。絵画・デッサン・彫刻を学ぶ事は、リラックスできる趣味と、勉学の知的努力・集中を非常に必要とされる建設的な技術の学問の 中間に位置

している。

努力と弛緩（リラックス）は、共に学習に必要であり、白紙 或いは白いキャンバスに臨む者全てが体験している。リラックスし落ち着くことは線・影・ニュアンス・色によって成り立つ“現実”を発見するのに必要であり、それらの建設的要素を十分につかんだ後に、抽象的現実のイメージが生み出される。

我々は便利な文化を好み、その中で生活しているが、労働時間や日々の生活は 多くのエネルギーを消耗させる。そのような事実を前に、情熱を白いキャンバスや紙に向かわせるエネルギーを維持している人々がいることは、真に奇跡である。

芸術は、いかなる芸術も、主観性より客観性の理論で縛り付ける現代において、我々自身の主観性を発達させる数少ない活動、活動の場所である。

芸術は真に価値のある活動である。それゆえ 何年にもわたり多くの愛好家がスタジオアート **13** で彼らの想像性を磨き、満足感を得ている。

フランシスコ マヌエル コルデロ モルガンティ